

事業計画

令和 4 年度 一誠福祉会「事業計画」

社会福祉法人 一誠福祉会 本部 後 藤 英 夫

新型コロナウイルス感

染は第六波が落ち着くことなく第七波として、引き続き世界を苦しめています。さらに、ロシアの武力による独立国ウクライナへ理不尽・冷酷な侵略行為により国は崩壊し、無抵抗な多くの国民が犠牲になっており心痛む事ばかりです。

日本を含む多くの国家がロシアに対し経済制裁を実施していますが、相手がエネルギー資源国であるゆえに日本にとって

は円安が進み、物価を上昇させて原材料・生活用品等の値上がりが続いております。

このことは、今後の施設運営に大きな影響を与えてきます。令和 4 年度事業計画、事業予算は既に理事会・評議員会で審議・承認されましたが、法人としてはこの不確定な状況と国内の経済状況を見極めながら慎重に事業を推進していきたいと思っています。

☆【主旨概要】

「新型コロナウイルス感染症が世界に広がってから早や 2 年以上経過しました。当法人は『コロナ時代へと舵を切り替え、臨機応変・小回りの利く事業計画を策定し推進していきます。』

今後は、「ノーマライゼーション」の理念のもと、新時代に即した事業活動を積極的に取り組んで参ります。職員一人一人が常に危機感と向上心を持ち、創意工夫とアイデアをもって、目標達成のため一枚岩となって安定・永続的な法人運営を目指し努力していく所存です。」

☆【経営方針】

一、中・長期計画事業の推進

二、人材の育成・確保・定着への取組強化

三、感染症及び災害への対応力強化

この三つの経営方針に従い法人として多くの事業計画が立てられ、さらに各々の施設が法人の事業計画を元に施設事業計

画・予算が立てられ執行されます。一見バラバラに見えても、主旨概要のとおり生き残りをかけて「一枚岩」で最後は目的達成を目指していきます。詳細な事業計画は、この場では差し控えますが、その内の「役職者の任用規定の見直しとキャリアパスの適正運用」「在宅サービス事業改革」は重要な事業として注目していきます。

理事長の想いは、『一誠福祉会は利益追求だけでなく、その利益を利用者には安心して生活していただけるため、職員には働く環境を良くするために使え』です。そのためには各事業所が立てた事業計画を確実に遂行していただきたいと思っています。

随 筆

標 本 木 (ひょうほんぼく)

社会福祉法人一誠福祉会 評議員 松 井 章 泰

今年も全国各地で桜が綺麗に咲き誇りました。ところで桜の開花情報は、誰がどのように発信しているのでしょうか。

現在の日本では、気象庁を始め民間各社が開花宣言をしてくれています。なお気象庁は開花宣言をしています。が「開花予想」はしていません(平成22年に廃止…民間各社が対応し始めたので税金の投入を止めました)。

開花宣言とは、標本木の花が5〜6輪開いた状態のときに行われます。開花を宣言する標本木は全国に58箇所あります。東京は靖国神社の境内、

京都は二条城、大阪は大阪城公園にあります。愛知県は名古屋地方気象台構内(千種区)にあります。

そして今春、向山公園に新たな「標本木」が設置されました。なおこの設置は、気象庁によるものではありません。

3年前、豊橋市から依頼を受けて講師を務めさせて頂いた「豊橋さくら守養成講座」から今回の標本木の指定が実現しました。さくら守養成講座は、1回の講座が3時間で、1年に5回も開催されていきましたので、内容はとても充実したもので

した。この講座を2年間、休まずに出席すると、「豊橋さくら守」に認定されます。そして、このたび認定を受けた19名が、任意ボランティア団体「向山緑地さくら守の会」を設立しました。私も顧問に就任しておりますので総勢20名体制の団体です。

この団体が今年の春から、向山公園内にある標本木の「開花から散り果て」までの情報を、豊橋市公園緑地課に報告することで、中日新聞社を始め、地元各メディアへと発信されることになりました。

今後皆様方におかれましては、この活動を温かく見守って頂けますと幸いです。

さて、一誠福祉会の標本木は「ノーマライゼーション」の精神であると思います。標本木は開花時期が他の桜と比べて、早過ぎても、遅過ぎても駄目で、周囲の桜と同じであることが必要不可欠となります。

つまり、350名余の職員の皆様と、各施設でご利用される利用者様が日々、充実した生活を過ごして頂くためには同じ方向性が必要となりますので、法人の標本木を見据えることで毎年の開花を楽しむたいと思います。



標本木

入社式

入社式・辞令交付式挙行

総務部長 青山 勉

令和4年度一誠福祉会
入社式・辞令交付式が、
4月1日、41名参列の
もと、厳かに執り行われ
ました。

一昨年はコロナウイル
ス感染症拡大により初め
て式典が中止となり、今
年度も感染状況を見なが
らの判断でしたが、挙行
することが出来、胸をな
で下ろしています。

式典では理事長から新
人への激励を含めたご挨
拶、そして役職者・役職
昇級者・新入職員・一般
職員に対し、辞令の交付
がありました。次いで新
入職員の榎本愛子さんが
「誓いの言葉」を力強く

宣誓いたしました。

その後、一誠福祉会の
会歌を斉唱、式典は閉会
いたしました。最後に、
理事長より役職者への訓
示があり、その中で「固
定観念を持たない、指示
待ち人間にならない、報
連相を行うこと」を主に
挙げられ、頑張ってほし
い旨のエールを送られま
した。

青空と満開の桜の下、
一堂に会することが出来、
明日への源になりました。



満開の桜の下で記念撮影

笑顔をやさずに

老人保健施設ヘルヴユーハイツ
介護士 榎本 愛子

4月1日、作楽荘で行
われた入社式・辞令交付
式に出席致しました。辞
令を拝受した後、新入職
員代表として私は誓いの
言葉を拝読。法人の一員
として恥じぬよう、決意
を新たにしました。

私は幼い頃から母が祖
母の介護をしている姿を
見て、その頃から福祉の
ことに興味を持ち始めた
ことを覚えています。介
護専門の高校に入学して
からは、介護福祉士にな
るという夢に向かって勉
強を始めましたが、現実
は厳しく、実習などを通
じ改めて介護の難しさを
感じました。それでも先

輩方の優しく丁寧な指導
のおかげで、福祉の世界に
飛び込むことにしました。



立派な介護士を目指して

学生時代はマスク越し
でも表情が真顔になった
りして笑顔でいることを
忘れそうになった時が何
度かあったので、利用者
の皆さんに常に笑顔を絶
やさない事を心掛けるよ
うにしたいと思っています。
まだまだ未熟ではありますが
一生懸命頑張りますので
どうぞよろしくお
願い致します。

新人研修

見識を深める

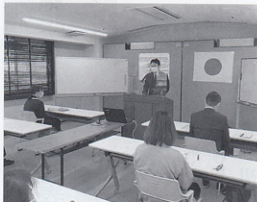
作楽荘 介護士 鈴木 泰考

令和三年度職員研修が三月十六・十七日の二日間で行なわれました。前職でも介護の仕事を経験していた私ですが、新しい知識を得ることができた研修でした。

施設職員としての心得の講義では、一誠福祉会の理念でもあるノーマライゼーションについて学ぶことができました。高齢者の方も障がいがあっても、全員が同じように生活できる社会を作ろうということ、介護が必要であっても、誰もが自分が望むように生活を送りたいことを理解し、常に意識を持ち仕事に取り組ん

でいききたいと感じました。

働き方の講義では、明前気（めいぜんき）の行動、明るく前向きな気持ちでいることで何事も自然と円滑に進むこと、良いことを思っていてそれを実行すれば良い結果を得られることに繋がることを学ぶことができました。



3会場に分かれ、リモート研修

一誠福祉会の
一員となつて

斯楽荘 介護士 河合 理恵

前職でヘルパーをしていた時に、作楽荘まで報告資料を持って行ったことが一誠福祉会との出会いでした。「大きな施設だな」と思っていました。法人構成図を拝見すると、思っていた以上に多角的でびっくりしました。そこで働かせてもらえることを有り難く思います。

介護福祉士の試験で習ったはずの知識でしたが忘れていたことが多かったです。接遇もお辞儀は間違っていました。この研修で勉強できて感謝致します。

略号が沢山あるので覚えられるか心配ですが、

覚えられたら格好良いし、記載も楽だなと思います。

心に残った研修は施設の利用料金が思ったより安価なことでした。もっと高額なのかなと思っていました。免除等もあり良心的に感じられました。

斯楽荘の受け入れ配慮も感動しました。拘束がないことも受け入れ体制からしつかりされているのだと思いました。拘束ベルト、つなぎ、ミトン、4点柵をしていない施設で働けることが本当に私にはうれしいです。

この大きな組織の中で今は皆様の足手まといになつていますが、色々覚えて落ち着いて行動できるようにしたいです。研修を受講させていただき有り難うございました。

研究発表

第20回愛知県老人保健施設大会での演題発表

老人保健施設ベルヴューハイツ介護士 高田 真 菜

令和2年2月27日、第

18回愛知県老健大会が名古屋

市で開催される予定

でしたが、新型コロナウイルス

の感染拡大により、大会が延期となりま

した。当初その大会に演

題発表するためにエン

トリーしておりましたが残

念ながら流れてしまいま

した。

昨年は当施設の小峰先生

(作業療法士)の発表

があったため、今回は2

年越しのリベンジとして、

令和4年3月3日、メル

パルクNAGOYAで開

催されました第20回愛知

県老健大会に「自然排便

を目指して」という演題

で参加・発表させていた

できました。

昨年に引き続き、コロ

ナ対策としてWeb形式

で行われました。初めて

の老健大会での発表、さ

らに施設一人だけの参加

で大変緊張しましたが、

何とか乗り切ることが出

来、ほっとしています。

今回の「自然排便を目

指して」では、身近にあ

る食品について着目しま

した。野菜ジュースは甘

く飲みやすい点からしっ

かり摂取することが出来

ましたが、オリブオイ

ルの摂取については、副

食に混ぜて提供したため、

摂取目標を達成出来ず大変苦慮しました。しかし、症例数は少ないですが(途中退所者もあったため)約70%の方に大便の質に変化が見られ、自然排便を促すことが出来、便秘の影響からくる食欲不振や不快感を軽減させることが出来たので良い結果になったと思います。

当日、他施設の方々の発表を聞き、沢山の学びと情報を得ることが出来、とても良い経験となりました。特に印象に残った演題は「夜間の尿失禁による衣類汚染回数削減」という発表でした。

夜間の失禁により衣類が汚染されるだけでなく、利用者様が不快に感じたり、衣類交換にともない他の利用者様への交換の

遅れにつながる等の問題が生じたことで研究が始められ、その対策として尿量の測定、パッドのあて方の見直し、職員同士の情報共有の三つが挙げられていました。改善によって利用者様の快い生活の提供やコストカットにも繋がるという点は大いに参考になりました。

老健大会に参加させていただき有難うございました。今後の成長に繋がっていきたいと思います。



野菜ジュースは1日100ml

自然排便を目指して

～ 身近にある食品で実践 ～

法人名 社会福祉法人 一誠福祉会

施設名 老人保健施設 ベルヴューハイツ

発表者 介護職 高田真菜

共著者 介護職 藤城那保

【はじめに】

当施設は、平成26年に「自然排便を目指して」というテーマで発表をした。

今回は第2報として、在宅復帰をした場合のことを考慮し、薬に依存せず身近にある食品を使用し、自然排便を促すことができないかというテーマで取り組んだ結果をここに報告する。

【対象と方法】

対象：未排便リストに上がる入所者9名（40名中）を対象とした。

男2名、女7名 平均年齢86.7歳
平均介護度2.2

実施期間：令和元年6月～令和元年8月

方法：①家庭で手に入れやすく便秘に効果があるものを検討し、野菜ジュースとオリーブオイルを使用することとした。

②野菜ジュースは1日100mlを提供。効果が見られない場合はオリーブオイルを追加で使用する。さらに、便秘に効果がある足踏み運動をあわせて毎日10回実施。

③実施後、排便の状態を観察しチェック表に記入。

【経過と結果】

①1ヶ月目

野菜ジュース（100ml）と足踏み10回を実施。2週間後から9名中4名の入所者に自然排便が見られるようになった。

②2ヶ月目

野菜ジュースと運動を引き続き実施。前月同様4名の入所者には自然排便が見られたが、5名には効果が見られなかった。

③3ヶ月目

9名中5名には効果が見られなかったため、5名に対し、オリーブオイルティースプーン1杯を野菜ジュースと合わせ追加提供。そのうち2名には自然排便が見られるようになった。なお、野菜ジュースのみを飲用している4名は引き続き自然排便があった。

【考 察】

野菜ジュースを飲み始めたころは効果が見られなかったが、9名のうち4名は2週目以降から排便の回数増や大便の質に変化が見られるようになった。

効果のなかった5名に対し、3ヶ月目からオリーブオイルを追加で提供。うち2名には効果が見られた。

オリーブオイルの効果をもう少し期待したが、それを副食に混ぜて提供したため食べ残しがあり、1日の分量を確実に摂取できなかったことが影響したのではと思われる。摂取方法を工夫すべきであった。しかし、効果が現れなかった3名も大便の質が硬かったものから普通・柔らかかめに変化していったことを考えると、オリーブオイルも十分効果があったものと推察する。

【まとめ】

野菜ジュースやオリーブオイルと身近にある食品を使用し、自然排便を促すよう実践した。その結果9名中6名に改善が見られた。

在宅復帰を視野に入れ、心地よく日々の生活が送れるよう更に身近な食品を選定し、自然排便を目指し、多職種協働で取り組んでいきたい。

事業所紹介

祝 DSC吉かわ 十五周年

DSC吉かわ 介護士主任 滝川 一 善

平成十九年六月にDSC吉かわは開所し、デイサービスの運営をスタートしました。前号の施設だよりも触れておりますように、当初は利用者数よりも職員数の方が多かったりして、軌道に乗るのに時間かかったよう

です。しかし、徐々に職員の奮闘よろしく利用される方が増え、定員数も二十から三十へと増やすことができ、現在に至っております。

【エピソード】

「イースト菌を入れない簡単パンづくり」を企画。イースト菌の代わりにヨグルトでパンを発酵させるという斬新なレシピを偶然発見して、おやつレクで実施。捏ねても捏ねても酸っぱいにおいを放つ粘土にしか見えず嫌な予感。せめて焼き色だけでもパンらしく！の祈りも空しく、パンとは程遠い物

体が出来あがり、職員は皆絶句。え？それを提供したのかどうか？シヨックが大きすぎて覚えていない……この大失敗は、消し去りたい過去の苦い思い出として記憶の片隅に追いやっていたけれど、今ではすっかり笑い話。安心してください！そのことを教訓に、今ではどんなレシピがあろうとまず試作。大成功したものをだけを提供していますよ。(介護士K)

私が着任した平成三十年には「楽しく」「美味しく」おやつレクを行えていました。施設そのものも比較的安定した運営ができるようになっており、ここに至るまで苦労してきた関係各位、過去の従事経験のあるスタッフや

現に従事しているスタッフに敬意を表します。私自身も名ばかり主任から、少しは利用者の皆さんやそのご家族、職員から頼りにされるようになってきたのではないかとうぬぼれ始めています。もちろん、まだまだ取り組んでいかねばならぬことは数多くあり、十五周年を契機に益々奮闘してまいります。ご最員のほど宜しくお願い致します。



地元の園児さんとお芋掘り(H28)

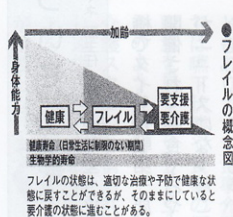


オープニングセレモニー(H19)

フ レ イ ル その①

老健ベルウーハイツ 理学療法士 杉 本 昌 洋

「フレイル」って何となく優しい響きのある言葉だと思いませんか。小学生の時の読書感想文用の課題図書に登場していた犬の名前と同じだったような気がします。弱々しい子犬が元気になる物語だったのでしょうか。最近では医療や介護の分野で、この言葉を耳にすることが多くなりましたが、おそらく介護の分野の方が多くに思います。フレイルは、海外の老年医学の分野で使用されている英語の「フレイルティ」からきています。これには「虚弱」や「老衰」などの意味があります。その



ため、この言葉を使うことには賛否両論があったようです。日本語でも、うまくあてはまる言葉を作るのは難しそうですね。フレイルとは簡単にいえば「健康な状態と要介護状態との中間の部分」のことをいいます。もう少し詳しく説明すると、何とか自立した生活を送っているものの筋力低下

下、栄養不足、認知(記憶、思考、理解、判断など)機能の低下や社会交流の不足などが進行した状態のことです。放置すると介護などサポートが必要となってしまう。しかし多くの場合、適切に予防すればフレイルに陥ることなく健康に生活できるようになります。また少しでも進行を遅らせることも大切です。

フレイルを理解する上でサルコペニアという重要な言葉があります。これは疾患名(病名)です。筋肉量が減少し歩行速度が低下しているような状態を指します。これには加齢により起こるものと病気に伴って起こるものがあります。サルコペニアになると疲れやすくな

るため活動量が減少します。動かなければ食欲もなくなります。加齢による食事量の低下も加わり、慢性的な低栄養の状態になり、さらにサルコペニアを進行させるという悪循環に陥ります。これをフレイルサイクルといい、この悪循環に飲み込まれないようにしなければなりません。参考までに、フレイルの判定基準を載せておきます。

今回は簡単な筋肉量の測り方などを紹介します。

日本版CHS基準(J-CHS基準)

項目	判定基準
体重減少	6か月で、2～3kg以上の体重減少
筋力低下	握力：男性 26kg未満、女性 18kg未満
疲労感	(ここ2週間) 訳もなく疲れたような感じがする
歩行速度	通常歩行速度：1.0m/秒未満
身体活動	①軽い運動・体操をしていますか？ ②定期的な運動・スポーツをしていますか？ 上記の2つのいずれも「週に1回もしていない」と回答

3つ以上該当：フレイル

1～2つ該当：プレフレイル(フレイルの前段階)

趣味披露

「観る将」について

麗楽荘居宅介護支援事業所ケアマネ 副主任 海 野 孝 光



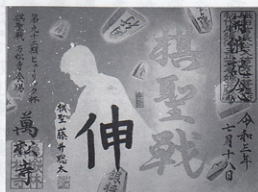
ここ数年、将棋の事といえば藤井聡太五冠（竜王・王将・王位・棋聖・叡王）を中心に色々と盛り上がっています。昔と異なり、十年位前からインターネットでの将棋コンテンツが増えたのを機に、自分で将棋を指すのを趣味にするのではなく、将棋対局の観戦やプロ棋士が出るイベントに参加して楽しむ事を趣味とする、通称「観る将」という将棋ファンが出現しました。自分もその一人です。

豊橋でも一昨年の夏にホテルアークリッシュ豊

橋でタイトル戦第一局が開催され、昼食やおやつがニユースになったことを覚えている方も多いと思います。

残念ながらコロナ禍の中で対局に併せてのイベントが無かったのですが、通常ですとタイトル戦の際には大盤解説会が会場近くで開催されます。プロ棋士・女流棋士による将棋内容の解説や将棋界限の話の他、プロ棋士のサイン色紙などが当たる次の一手クイズ等、長時間飽きることなく楽しむことが出来ます。昨年の七月には名古屋

大須で藤井聡太棋聖VS渡辺明名人のタイトル戦に伴う大盤解説会に参加する予定でしたが、藤井棋聖の三連勝により対局及び解説会が無くなってしまったので、記念品だけ購入してきました。



開催記念の御朱印

今後の「観る将」活動としては、今年の秋に岡崎城で岡崎将棋まつりがありますので、申し込み抽選に当たる事を願っています。

最後になりますが、私の指す将棋の実力ですが、勝ったり、負けたりの凡人レベルです。今では実際に盤を挟んで対局する必要はなく、スマホやパソコンを通じて、空いた時間に気軽に一局指せるのは便利な時代になったと思います。



岡崎将棋まつりにて
藤井聡太四段時代
(写真左)

施設だより

★作業荘

○ケアについて

看護師 大澤さと子

入所者様が穏やかに安定した日常生活を過ごすためには、体調管理等の医療面でのサポートが必要となります。特に高齢者は多くの慢性疾患を抱えながら一寸した変化が体調悪化につながる事も多く、日々の状態観察に注意が必要となります。

今回、医務室での日常業務の一部として「ケアの実際」について紹介させて頂きます。入所者様の多くは、加齢により乾燥肌からバリア機能が低下し細菌感染や湿疹、かゆみ等の皮膚トラブルを

起こすことが多いため手浴や足浴を行ない、バリア機能を整え、温浴効果により血行改善にも繋がります。また、拘縮等により爪の変形などのフットケアを行なう事で、痛みの緩和にも繋がります。何よりも実際に入所者様に触れコミュニケーションをとる事が安心感となり、トラブルの早期発見となります。

また、介護スタッフの人員不足ということもあり、食事介助では嚥下状態や食事の摂取量を見る事もできます。このような関わりの中で、介護スタッフと情報共有し連携を図りながら、ケアを継続して提供する事が重要となります。

○4年目に突入です！

生活相談員 安藤 威文

皆さんは一誠福祉会ホームページからブログが閲覧できるのはご存じでしょうか？各施設で行われる行事の様子や日常の出来事をタイムリーに紹介しています。

私がブログ記事を投稿するようになり3年が経ちました。我ながらよく続けて来られたなと感心しています。もともとは

作業荘をアピールする目的で始めました。しかしながら、続けていくうちにそれ以外にもいろいろなことを考えるようになりました。「作業荘だけでなく法人全体の広報活動も必要だな。ブログを

使って求人広告としての役割が担えないか。コロナ禍でなかなか会えない御家族様に少しでも安心して貰えるといいな」そんなことを想いながら投稿を続けてきました。

ブログは「鮮度が命」季節に応じた旬な話題をリアルタイムに近い状態でお伝えできるのが利点です。何より継続して更新することが大切になりますが、少しでも皆さんに施設の様子をお伝えできたら幸いです。

現在他施設からの投稿も活発で、私自身刺激を受けています。これからもアップデートを重ね、無理のないペースで投稿することを心掛けていきます。更新を楽しみに待っていてください！

美光ハイム

○花見茶会・桜を想う

介護士 菅沼 昌子

桜満開の三月三十日。特養作楽荘との合同行事として「花見茶会」が行われました。

風もなく穏やかな日差しの中、作楽荘玄関先に咲き誇った桜の木の下で、お抹茶と桜の花を形取ったお菓子が提供されました。職員によって運ばれたお抹茶を神妙な顔で受取り一口。お菓子を頬張りにっこり笑顔はまさしく「花より団子」です。

「花見団子も食べたかったね」今年のお茶会は桜がほんとに見頃。あと、一週間で散っちゃうね」「桜の花吹雪も素敵よ」と名残り惜しそうにお茶

席を後にしていました。

それから五日後には花が散り始め、風が吹く度に花弁がひらひらと舞い降りて、一面がピンクのジュータンを敷き詰めたようで綺麗でした（でも掃除が大変）。

満開で感激し、花弁のジュータンで感激し、心豊かにさせてもらった桜に感謝です。

来年の春も見事に咲き、楽しませてくれることを願うばかりです。



桜の花吹雪も素敵よ

倶楽荘

○さくら咲く

介護士 田中 友梨

三月六日、愛知県で発令されていた蔓延防止重点措置が解除され、街に少しずつ活気が戻ってきました。桜のつぼみが膨らみ、春の香りがしてきた三月の下旬、感染対策をしっかりとしたうえでお花見に出掛けました。

倶楽荘の近くの神社に職員二人と入居者様二人の少人数ずつで短時間の散歩を楽しみました。久しぶりの外出と言うこともあり、出発前から皆さんの表情は明るく、笑顔が多く見受けられました。

コロナウィルスの感染対策で出店は無く、桜を

観賞するだけになってしまった事は非常に残念でしたが、青空の下、お花見をしながら、沢山の笑顔が見られたことや明るい表情を写真に収めることができたので、私自身も自然と笑顔になりました。

コロナウィルスが少しでも早く収束し、面会や外出が気兼ねなくできるようなことを願っています。



春の香りを満喫して



○お花見ドライブ

介護士副主任 野澤 尚弘

3月下旬〜4月上旬に豊橋競輪場近くの朝倉川に少人数ずつで桜のお花見ドライブに出掛けて来ました。

この日は天気も良く、絶好のお花見日和でした。感染防止のため、今年も車から降りることは出来ませんでした。満開の桜の木の下に車を止め、車中からのお花見です。

入居者様の第一声は、「まあ、綺麗な桜だね」と満面の笑顔で観賞されていました。さらに「昔は旦那さんと一緒に桜を見に出掛けたなあ。」などと思い出話にも花が咲き、自然と会話は弾み、楽し



見事な桜に会話は弾む

いひと時を過ごすことが出来ました。

久しぶりに気分転換になったと思いますが、まだまだ施設内で過ごす時間が多いのが現状です。このような笑顔を施設内でお届けするにはどうしたら良いのか、それには普段からのコミュニケーションが大切だと思えます。会話はどこでも出来ますからね。

ぜひ一緒に会話の種を探しましょう。



○エイジング・パラドックス

介護士 嶋 章政

高齢期には、身体的衰えや多くの喪失体験を経験するにも関わらず、主観的幸福感は向上していく事が国内外の調査で明らかになっています。この現象を「エイジング・パラドックス」というそうです。簡単に言うと、お年寄りは私達よりポジティブです。

現在テレビ等では、ロシアのウクライナ侵攻の事が連日取り上げられていますが、入居者様においてはそれらのニュースを心底心配している方はほとんど見受けられません。そんな事よりも車のCMを見て、「車のカギは

どこだ？」と目を輝かせ出掛ける準備をする方もいます。

職員からしてみればBPSD（認知症の周辺症状）への対処に苦慮し、入居者様からしたらSOC理論（選択的最適化）に基づき行動を起こす。介護のプロと老年的超越を手に入れた人生のプロがお互いの妥協点を探る攻防が現場で24時間行われています。この攻防戦が出来る間は、お互いに心身健康であると私は考えています。



平和が一番ですね

ペルウーハイツ

○笑顔いっぱいいちご狩り

介護士 浅井 保江

入所フロアでは季節が変わるごとに旬の果物を使用して『フルーツ狩り』を開催しています。催しを考えてくれるのは、栄養士の野澤さんと施設ケアマネの野口さんです。毎回どんな方法で、どんな果物を使用して開催してくれるのか職員ながら楽しみでたまりません。

3月待ちに待った『いちご狩り』。いちごのヘタを切って、縦に爪楊枝を刺し、刺したいいちごを洗濯ハンガーに挟む。するとまるで沢山のいちごが実っているように見え、さらに取りやすく、いくつでも食べられます。



どれにしようかな

もう一つの仕掛けは、斜めになっている小物の棚に、爪楊枝を刺したいいちごを入れてクジ引きをするみたいを選んでいただくというもの。うきうき感があります。

皆さん最初に見た時はびっくり！見た目も楽しく、つつい手伸びてしまします。「甘くて美味しかった」と大満足。笑顔こぼれる『いちご狩り』でした。次回も楽しみですね。

○老人保健施設の今

看護師主任 垂水 浩和

私は昨年4月にペルウーハイツに異動となりました。それまでは特別養護老人ホームに勤務しており、老健に移る際、特養と老健の違いについて大まかにしか知らなかったので実際に働いてみて、違いを実感できるものと考えておりました。

特に大きな違いは特養が終生の施設であるのに対し、老健はリハビリ施設であり在宅復帰を目指す施設として、その役割を担っているものと漠然と思っておりました。

しかし、実際のところ、本人・家族の高齢化や認知症進行による日常生活

動作の低下により在宅復帰が困難な事例が多く、特養への空き待ちのつなぎとしての側面が増大化しており、世情の流れと共にその施設の在り様も変容してきているように感じます。

介護保険も何年か毎に見直されていますが、制度や報酬、加算項目等は変われども既存施設の在り方まで議論されているかは疑問が残るところです。社会的ニーズに合わせて小規模特養など新しいタイプの施設は出ておりますが、既存の施設も統合的に社会全体を俯瞰してみても情勢に合わせ、その在り様を見直していく必要があると感じるこの頃です。

DSC吉かわ

○初心忘るべからず

介護士 太田 昌克

昨秋よりDSC吉かわに配属となり半年が経ちました。今までよりも言葉遣いや接遇などを厳しく指導され、自分の至らなさを痛感する毎日ですが、利用者様、そして職員も温かく迎え入れてくれているおかげで充実した日々を過ごせています。休みの日に利用者様から「今日、太田君はおらんだかん」と言われたことが嬉しくて、すごく励みになります。吉かわの職員は普段から仕事を段取りよく、積極的に進められており、刺激を受けると同時に勉強になることも多く、早く追いつけるように意識しながら従事しています。

吉かわでは毎月「季節の花週間」として浴室に生花を飾ったりしています。担当を言いわたされた時は、花を飾ること自体が初めてで不安でした。後に主任から好評だったことを聞かされ、嬉しく思いました。

吉かわは今年で十五年目を迎えます。その歩みを踏襲し、これからお役に立てるよう頑張ります。



大好きな皆さんをパシャ

麗業荘

○春の壁飾り作り

介護士 山口レモンデ

ぽかぽかと春の陽気を感じられるようになってきた中で、コロナウィルスの影響を受けつつも、季節を感じていただこうと今回私たちが企画したのが桜をモチーフとした壁飾りの作製です。入所されている皆さんとの共同作業はなんだかわくわくしてきます。

皆さんに見本を参考にしながら沢山の花びらや葉っぱをひとつひとつ丁寧に作って頂きました。「貼るところはここでないかん?」「こっちの方が綺麗に見えるうだねえ」と楽しそうに会話を挟みながら着々と作業は進み、



出来上がりが楽しみ

完成した作品を飾ると桜の花が壁一面に広がり見事な出来栄でした。

この力作ぶりに目を細められ、口々に「上手に出来たね!」「今年の桜はキレイだわ。屋内でもお花見出来てうれしいやあ」と、心躍らせている様子でした。そして今年の桜は施設の外だけでなく、内でも桜は満開になりました。施設内をより華やかにする事ができたかと思えます。

◆ デイサービス麗楽荘 ◆

○ 新しい気持ちで

介護士副主任 桑山 恵利

私事ですが、四月一日付けでデイサービス麗楽荘へ異動になり、約十年ぶりに前勤務地へ戻ってきました。これまでケアハウス、地域密着型特養で「入居者様」への接し方を経験してきましたが、今回初めて「利用者様」への対応を学ばせて頂くこととなりました。

当時を良く知る方に久しぶりに再会した時は、マスクをしていても、「桑山さんだね、嬉しい」と笑顔で話しかけられ、私も喜びでいっぱいでした。変わるものも多いわけですが、変わらないものもあります。それは「入

居者本位・利用者ファースト」という思いです。

四度目の異動ではありますが、どの職場でも変わることなく相手の事を第一に考え、入職当時に掲げた目標、「ふれあいの場をいかに提供できるか」をモットーに頑張ります。

右往左往しながらも皆さんの先頭に立ち、素晴らしいサービスを提供出来るよう努力していきたいと思っています。



皆様の笑顔が何よりです

◆ 和光ハイム ◆

○ 沢山の花に囲まれて

事務員 林 徹郎

和光ハイムが立地している地域は、「さくら里」という名のとおり、一年中どの季節においても様々な花の景色を目にすることが出来ます。

三月下旬にソメイヨシノなどの桜が美しく咲き誇った後、四月上旬には西側の斜面で満開の芝桜を楽しむことができます。

芝桜はハナシノブ科の多年草で北アメリカ西部を原産とし、四月上旬から五月下旬に開花し、「芝生」のように地面に拡がり、「桜」のような花を咲かせます。

この美しい「芝桜」の周りに和光ハイムの入居

者様ほか、特養麗楽荘やグループホームの入居者様、デイサービスの利用者様も集まって午後のひと時を楽しめます。

花を見ると身体の中に「幸せホルモン」(ストレスに負けないセロトニン、安らぎを与えるオキシトシン、やる気が出るドーパミン)が分泌されストレスを和らげ幸福感が得られます。心癒されるこの素敵な地域・施設で楽しく暮らしていきましょう。



満開の芝桜が見事です

GHうらら

○中庭の大掃除

介護士 滝川 和良

冬の厳しい寒さが落ちて、春の暖かさがやってきました。

外出ししやすい気候になったものの、新型コロナウイルスによる自粛の為、大手を振って外出するのはまだまだ難しい状況です。それでも入居者様や私達も運動不足で身体が鈍ってしまうのを何とか出来ないものか……。そこで皆さんにご協力いただき中庭の掃除を行う事にしました。入居者様に草取りをお願いすると皆さん快く引き受けてくださり、草取りやゴミ拾いをして庭を綺麗にしてくださいました。



これから一緒に助けあって

久しぶりに外で一生懸命身体を動かしていた為、少し息が上がってうっすら汗が出ていたのですが、皆さんとことなく楽しそうにやっていたいたおかげで中庭が見違えるほどキレイです。

コロナの影響で入居者様には不便をかけていますが、状況が収拾して一日でも早く皆さんと一緒に堂々と外へお出かけできる日々が戻ってくるよう願うばかりです。

奇楽荘

○桜の名所「桜淵」へいざ

介護士 森 千秋

三月三十日、早朝小雨が降り、少し肌寒さを感じましたが上着をしっかりと着て準備よし。天気は回復、予定より少し早めに入居者三名職員二名で、新城市内の桜が満開となったとの情報得て、桜淵へいざ出発！久々の外出に入居者様の笑顔も満開。道中車の中から見える桜や菜の花にテンションも上がりっぱなし。

まだまだ油断できないコロナの為、桜淵公園の中には入らず、近くの青年の家から桜を見ることにしました。先ずは車椅子の方から降ろそうとしましたが、我先に降りよ



満開の桜にご満悦

うと足腰がしつかりした入居者様一名。それ位この日の外出が嬉しかったようです。

満開の桜を思う存分楽しみなが持参したお茶で一息。入居者様の「何か食べたいね」の一言に、「おやつ持ってきてくれば良かった」と今回の反省点。心配した寒さとは逆に上着も必要ない程のぽかぽか陽気。少しの時間でしたが笑顔いっぱいのお花見になりました。



○防災訓練を振り返る

介護士 宮下 市陽

三月の防災訓練では台所からの火災を想定し、避難訓練と消火器訓練を行いました。防災訓練は隔月で実施しており、入居者様はいつも真剣に参加して下さっています。

今回の避難にかかった時間は四分五十秒程でした。総務省が示している避難限界時間は壁や天井が不燃材質の場合で五分間とされています。時間

内での避難は達成できましたが、実際に火災が発生したと想定した場合、まだまだ改善が必要です。

その後の消火器訓練では水消火器と的を用意し、



的を目掛け、放水！

防災委員が入居者様に消火器の使い方を説明した後、実際に的へ目掛け水を当ててもらいました。安全ピンの抜き方に苦労する場面も見られましたが、放水は問題なく上手に行えました。

火災以外にも地震や断水など、様々な災害に速やかに対応できるように、今後も皆さんと協力しながら防災への意識を高めていきたいです。

本部 日誌

令和 4 年 3 月

16日 新人研修(於 作業荘 Web)

17日 新人研修(於 作業荘 Web)

19日 理事会 本部会議(於 ホテルアークリック 豊橋)

23日 評議員会(於 ホテルアソシア 豊橋)

令和 4 年 4 月

1日 入社式・辞令交付式(於 作業荘)

6日 本部会議(於 斯楽荘)

作業荘 日誌

令和 4 年 3 月

3日 離祭り

4日 福岡地区民生委員定例会 包括(於 福岡地区市民館)

7日 業務打合せ会 包括(於 モート会議)

8日 包括管理者会議 有馬主任(於 モート会議)

9日 身体拘束廃止委員会施設内研修

10日 中野地区民生委員定例会 包括(於 中野地区市民館)

14日 野地区市民館)

15日 事故防止委員会施設内研修

16日 給食会議

17日 寿司祭り

21日 職種別会議(主任ケアマネ(渡邊副主

22日 任 於 大清水センター)

22日 春分の日

22日 誕生日会

22日 職種別会議(社会福祉士(有馬主任

22日 大塚副主任(於 市役所)

24日 連絡会議

29日 花見喫茶

30日 花見喫茶

令和 4 年 4 月

6日 中野地区民生委員定例会 包括(於 中野地区市民館)

7日 瀬川会

8日 福岡地区民生委員定例会 包括(於 福岡地区市民館)

11日 給食会議

15日 寿司祭り

17日 誕生日会

19日 職種別会議(主任ケアマネ(渡邊副主

25日 任 於 大清水センター)

26日 業務打合せ会 包括(於 モート会議)

27日 職種別会議(社会福祉士(有馬主任

28日 大塚副主任(於 市役所)

28日 職種別会議(保健師(鈴木 於 弥生王

28日 寿園)

28日 連絡会議

28日 誕生日会

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

28日 連絡会議

美光ハイム日誌

令和 4 年 3 月

3日 茶道クラブ・ひな祭り

6日 カラオケ練習会(8:13 20 22 27日)

8日 カラオケクラブ(14日)

9日 草を味わう会

9日 書道クラブ

15日 健康体操クラブ

17日 華道クラブ

倶楽部日記誌

令和4年3月

2日 移動スーパードット(毎週水曜日)

3日 ひな祭り(行事会)

12日 誕生会

24日 倶楽部連絡会議

29日 お花見外出(4月2日)

30日 イベントランチ(王将テイクアウト)

令和4年4月

6日 移動スーパードット(毎週水曜日)

24日 誕生会

27日 倶楽部連絡会議

G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

令和4年3月

1日 誕生会

2日 移動スーパードット(毎週水曜日)

3日 ひな祭り(行事会)

24日 倶楽部連絡会議

29日 お花見外出(4月2日)

令和4年4月

スズメ日記誌

令和4年3月

7日 連絡会議(リーダーミーティング)

10日 Aユニットミーティング

23日 防災訓練

24日 作業連絡会議

ユニット型特養オンライン情報交換会(小山)

25日 事故防止勉強会

31日 Aユニット誕生会

令和4年4月

4日 花見(向山公園、7日)

7日 Bユニットミーティング

11日 連絡会議

28日 作業連絡会議

ベルビューハイム日記誌

令和4年3月

3日 第20回愛知県老健大会(高田Web研修)

7日 業務打ち合わせ(堀内主任リモット会議)

8日 職種別会議(堀内主任リモット会議)

10日 ケアマネ研修会(堀内主任リモット会議)

15日 連絡会議

20日 誕生会(3F)

21日 温泉フェスタ(26日)

22日 職種別会議(社会福祉士)普沼於豊橋市役所)

23日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田於あいちヒア)

27日 誕生会(2F)

令和4年4月

7日 ケアマネ研修会(堀内主任リモット会議)

8日 誕生会

12日 職種別会議(堀内主任リモット会議)

17日 誕生会(3F)

19日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田於あいちヒア)

24日 誕生会(2F)

25日 業務打ち合わせ(堀内主任リモット会議)

26日 温泉フェスタ(30日)

26日 職種別会議(社会福祉士)(普沼於豊橋市役所)

28日 連絡会議

DSC吉かわ日記誌

令和4年3月

3日 桃の節句

8日 感染対策委員会

14日 季節の花週間(桜、19日)

24日 虐待防止委員会

25日 防災委員会

26日 習字教室(佐藤征子講師)

26日 ミーティング

令和4年4月

2日 花見散策(水神社)

4日 季節の花週間(春の花、9日)

6日 感染対策委員会

13日 フラワーアレンジメント教室(市川知恵講師)

18日 芸術懇話会(金田ひよこ様)

19日 防災委員会

21日 防災訓練(豊橋市防災危機管理課)

22日 虐待防止委員会

26日 習字教室(佐藤征子講師)

ミーティング(倫理及び法令順守とプライバシー保護)(滝川主任講師)



麗楽日記誌

令和4年3月

2日 ひな祭り会

3日 新城市介護認定審査会(海野副主任)

8日 給食会議

9日 防災避難訓練

15日 春の祭り

18日 連絡会議(入所判定会議)

23日 茶々研修(安全衛生委員会合同、在研研修)

修(奇楽荘内コロナ感染の経緯(報告))

修(「安全運転管理について」)

25日 誕生会

職員募集

◆介護士・看護師・
ケアマネージャ

◆勤務地 豊橋・新城

◆正職員・パート

本部総務 担当 青山

☎(0532)48-5115

和光ハイム日誌

令和4年3月

3日 和の会

鑑察り会

4日 茶白山病院定期受診

7日 茶白山病院定期受診

30日 花見バスハイク(於 設楽原資料館)

令和4年4月

2日 花見バスハイク(於 設楽原資料館)

9日 灌仏会

11日 職員健診(於 TSK、22日)

12日 給食会議

13日 寿司祭り

15日 連絡会議・入所判定会議

18日 臨床実習(中部デザインセンターカレ

ッジ2名、20・25・27日)

21日 生け花クラブ(加藤温雄講師)

25日 誕生日会食

27日 書道クラブ(加藤美代子講師)

9日 避難訓練

25日 誕生日献立

27日 健康チェック

令和4年4月

1日 茶白山病院定期受診

2日 和の会

4日 茶白山病院定期受診

9日 灌仏会

13日 結カフエ

18日 リクエスト昼食

20日 エンディングノート講習(新城市高齢課
山本由美講師・菅谷美波講師)

GHきくら日誌

令和4年3月

3日 ひな祭り

9日 防災訓練

21日 おはき作り

23日 誕生日会

令和4年4月

1日 お花見(於 長篠城址)

18日 誕生日会

奇楽荘日誌

令和4年3月

3日 ひな祭

5日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)

17日 誕生日会

18日 新型コロナウイルス予防接種(入居者)

30日 花見(桜瀬公園)

令和4年4月

2日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)

20日 誕生日会
26日 田楽作り

GHきくら日誌

令和4年3月

1日 訪問診療(宇利)

3日 訪問診療(吉祥)

18日 連絡会議

22日 誕生日会

24日 防災訓練

運営推進会議

25日 和菓子と抹茶の会

27日 俺ん家食堂

令和4年4月

5日 訪問診療(宇利)

7日 訪問診療(吉祥)

16日 誕生日会

24日 俺ん家食堂

作楽荘グループ・BVHグル



116488・ユー・エス・エス

UD
FONT見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。VEGETABLE
GIL INK環境にやさしい
植物造インキを
使用しています。

施設概要・ブログ等を公開

編集後記

豊橋市内の小中学校74校
で水泳の授業を3年振りに
再開することが決まった。
もちろん感染対策を徹底し
たうえのことであろうが、
賛否は分かれそうである。
先駆者は叩かれるという言
葉があるが、進化・変化とは
常に批判から始まるものだ
と思う。何もせずそのまま
であれば安定するのであろ
うが、それ以上の成長は見
込めない。時勢に敏感であ
り、常に新しい目線を持つて
いないと先駆者になること
すら難しいのではあるが。
当法人も4月に人事異動
がおこなわれ、部署によつ
ては新しい風が吹き始めて
いる。春の嵐ではないが、
先行き不透明なこの時代を
乗り越えていくためには、
上層部の頭を困らすぐらい
の発想を持った先駆者が今
後は必要な人材となりうる
のであろう。(K・F)